

2009年今年の千支もロバ？

皆さん 今年も楽しくやりましょう！



福井ケーブルテレビのふくいチャンネル「ズームアップまちづくり」の番組収録 / 7ページ関連記事

活動報告

- 12月17日 LRT研究会 (IRE)
- 20日 民主党若手勉強会
- 26日 マップ部会 (坂井市コミバス意見交換会)
- 1月10日 LRT部会
- 13日 ROBANEWS 編集会議
- 14日 LRT研究会 (IRE)
- 16日 福井市都市交通戦略協議会
- 16日 1月例会・理事会

今後の予定

- 1月 下旬～2月上旬 臨時理事会予定
- 18日 (日) 森田地区文化委員会コラボ
第2回ワークショップ
- 2月14日 (土) 第3回ワークショップ
- 20日 (金) 2月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「となりの車線はなぜスイスイ進むのか」

トム・ヴァンダービルト著 酒井泰介訳

早川書房 1800円 + 税 ISBN978 4-15-208971-7 C0065

渋滞論、交通安全工学など、自動車にまつわる多彩な話題がおもしろく書かれており、飽きずに読める本です。日本では、自動車の交通の円滑化と公共交通は切っても切れない関係ですが、クルマだけの世界でこれほど「考えるネタ」があることに専門家でない人は驚かれることでしょう。専門家の方にとっても、聞きかじりで聞いた話が具体的かつわかりやすく記載されており、「おれもそう思っていた」と膝をたたくことが多いと思います。

日常生活の経済的不安のない福祉国家の国民は、やはり安全ということに興味に向くし、道路行政も国民の思想がひとりひとりの命や社会のルールを大事にしているかどうかで大きく変わってくる、ということは行政マンとしてしっかり考えないといけないという感想を持ちました。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第3回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 横浜に参加して 林 博

12月6日朝ほほ1番（正確には3番6時半）で福井が2度目の雪の中を出発。快晴の米原を經由、雪化粧した富士山を湘南から眺めながら、新横浜で乗換えて地下鉄で横浜国大へ。

午前中の研究発表では、8テーマ、78編が発表され、1、交通政策への提言（堀さんほか）、2、各地域の取り組みから（RACDA 呑んべいマップ、ASITA）などに参加しました。

昼食タイムには、アトラクションとして「交通クイズ大会」がありました。面白そうだし今後のイベントの参考にしたいなと気にしながらサミットDVDを販売。締切り間際に、高橋さんの勧めもあり見学気分で気楽に参加、300人ぐらいいたでしょうか。最初の問題はいきなり地元ネタ。「会場の横浜国大から横浜駅までの直線距離は？」。会場には子ども連れもたくさんいたので、なるほどそちらへのサービスか。ネットで見たとき会場は確か山の上で地下鉄駅から遠いけど、横浜駅からは意外と近いなと感じたのを思い出して、5km以下に手を上げたら正解。問題は2択、1問ごとに中村文彦先生が解説を加えて、次の問題へ。その後も「横浜の路面電車の全面廃止はいつか？」など、地元ネタばかりが続いて降参寸前。4問目ぐらいから急に専門ネタ「トランジットモールとは？」「クリチバのトラムトレインの郊外の最高時速は？」など得意なやつに変わって難なくクリア。他は記憶が飛んでしまって思い出せないが、その訳は後で。3～40人ほどになった確か8問目で、「市のバイオバスとエタノールバスと2酸化窒素の排出量はどちらが多いか？」エタノールバスの方が多ければ手を上げるのだが、誰もこんな問題わかるわけなくて手を上げようか躊躇していたら、中村先生から補足説明が、私がドイツ視察で聞いてきたのだけだと。これはよっぽど手を上げて欲しいのだなと思って挙手。結局上げたのは私を含めて4人。ついに4位以内が確定して壇上へ。そのあとも、「バス専用道路は日本にあるか？」名古屋にあると思って手を上げなかったら、正解は福岡にあってクリア。一人脱落して、ついにメダル確定。「名古屋のガイドウェイバスと同じシステムは外国にあるか？」あるに手を上げたら正解。「イギリスのLRTは何都市あるか？」フランスにはたくさんあるがという補足説明があったので、逆に「4都市以上ある」に手を上げたら正解。実は、どちらの問題で1位になったかも頭が真っ白になり記憶が飛んでいます。人生初体験でした。

午後の市民フォーラムは家田仁先生の講演会。相変わらずの家田節で「発表原稿に書いてしまうとやりたくなくなってしまって、テーマの内容は今日のテキストを見ておいてください。」と講演内容を急遽変更したり、中村先生を「日本に3人いるバスおたくの1人」と紹介して会場を和ませたりと、とにかく楽しい話でした。中身はちょっと思い出しません、ごめんなさい。

パネルディスカッションの途中で、もう一方でやっている岡、服部さんなどのワークショップ「各地で進む？LRT/BRT計画」をのぞいてみました。前に8名ほど、観客が20名ほどのこじんまりしたものでしたが、議論は伯仲しすぎて空回りする部分も。みんな熱い！！

私としては、部屋の周りや、廊下に張り出されている「LRT・BRTデザインコンテスト入選作品展示」の出来栄が良いいため、そちらに興味が行きました。一度ご覧あれ。

<http://www.tamabi.ac.jp/gakusei/staff/kameya/katsuma/designcontest.html>

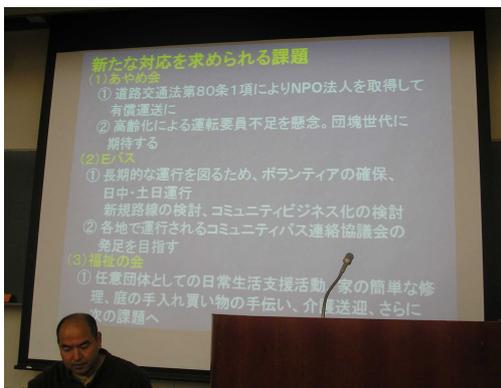
懇親会の途中で抜け出し、LRT 絵本「子ねことふしぎな電車」をみやげに帰路へ。この絵本は、トラムという子ねこの物語で「LRTの持つ環境、福祉、まちづくりの視点（やさしさ）が子ねこをおとなにして」いくというストーリーです。

帰りの電車の中でクイズ大会の賞品を見てみたら旅行券。帰りの切符代？でも、JR東日本専用。でも、いい旅でした。



■横浜市（横浜国立大学）が第3回目の会場に

大きく2部構成となっている。第1部は少人数のセッション8部門、70を超える発表があり、1セッションあたり8～9本くらいの発表が行われる。私はそのなかで「横浜での取り組み」のセッションに参加。市議会議員、横浜市役所からの交通政策あり、団地のなかを自らの手でバスを運行させた市民グループからの発表、またLRTとかBRTとかの華やかな移動とは違い「自分の足」で移動できない方々への移動の機会を提供する所謂、福祉有償サービスという介護も絡む新たな『移動サービス』、STS（特別移動システム）の方からの報告もあった。健常者（こういう言い方は好きではないが）だけの移動でなく、障がい者のための移動サービスに心を砕く方の活動をこの全国大会で取り上げていることが大変うれしく思った。そんなこともあって私はこのセッションを選んだ。なかでも、住民自らバスを走らせる活動をしている方からの発表がよかった。関係機関との調整、事業者との折衝、そして会の管理、発展などのご苦労を聞くことができた。第2部は全体集会ともいうか「市民フォーラム」は、福井にもお越しいただいた横浜国立大学の中村教授が取りまとめておられた。基調講演は東京大学の家田先生がなされた。初めて聞きましたが、なかなか飽きさせない話題を提供されて興味深かった。パネルディスカッションは、中村先生を中心に、横浜を基点として活動している商店街の役員、横浜カーフリーダーの関係者、STSの関係者などが登壇し、コラムニストの泉麻人氏も出席していた。



（第1部 セッション「横浜市の取組」での一コマ）



（第2部 市民フォーラム）左端が中村教授 右端はコラムニストの泉麻人氏（電車、まちあるきが趣味）

■ひとと環境にやさしい交通を考える全国大会の意義

まちづくりの話、新しい電車の技術に関する事柄等々、「交通」、「移動」に関することを多種多様な切り口で学べるので面白いと思う。考えてみれば、福井の場合、特にROBAの活動は多岐にわたるので、この大会を福井又は北陸でやる意味は大いにあると感じる。金沢、高岡、富山を巻き込むとたくさんのメニューができるのではないかと思います。LRTの先進地として、富山があり、高岡があり、LRTの動きのある福井、金沢ある。ただ、課題がないわけではないが、どの地区でも大学が一つの「キーワード」になるが、どこが主管となるのか？調整次第では面白い展開ができるのではないかと一人悦に入っている。

■次回開催地は

東京で行うことが発表された。

平成20年度 第4回福井市地域生活交通活性化会議

報告者：内田桂嗣

日時：平成20年12月12日 10:00～11:45

場所：福井市役所 8F会議室

委員：座長 川本福井大学准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、PTA連合会、ROBA、福井鉄道自動車部、京福バス、まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労働組合協議会、福井運輸支局、県・総合交通課、市・交通政策室

目的：平成18年10月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。(主にバス交通に関する会議)

議事： **案件** 美山地区 地域バスの運行について

目的 既存ストックであるスクールバスと路線バスを統合運用する形で路線バスを廃止し、スクールを誰もが多用途に使用できるよう、市有償運送バス(地域バス)として乗合化し、地域内移動を確保する。

運行系統 芦見地区方面(片道15.5k) 上味見・下味見地区方面(25.8k)

運賃 一律100円

運行開始日 平成21年4月1日より 本格運行

運行日 2路線とも1日4往復、毎日(365日)運行

路線バスとの整合性

美山線(皿谷系統、河内系統)は廃線とする。大野線、池田線は福井駅までの都市間交通として、芦見・味見地域バスはJR美山駅方面までの地域内移動手段としての活用とする。

案件 海岸地区 地域バスの運行について

目的 越廼地区の既存ストックである市有バス2台を活用し、合併後の広域なまちづくりを支える手段として海岸部に地域バスを運行し、地域内移動の利便性の向上をはかる。

運行系統 八ツ俣～和布間(片道20k) 八ツ俣～越廼中学前(片道8.5k)

運賃 一律100円

運行開始日 平成21年4月1日より 本格運行

運行日 毎日（365日）4往復/日運行 平日（月～金）3往復/日運行
路線バスとの整合性

現在、越廼地区～国見地区間には路線バスの運行はない。今回の地域バスは、この空白解消と越廼方面から路線バス海岸線（三国方面行）の発着点である和布までを結ぶことにより、乗り継ぐことで地域内移動をはかり、合併後の広域的なまちづくりを目指すものである。

ただし、越廼地区における茶崎線、国見、鷹巣地区における鮎川線は地域と福井市中心部を結ぶ重要な基幹路線であり、これらを阻害することがあってはならない。よって、地域バスの運行は八ツ俣～和布までの区間が限度である。

都市間交通としての路線バスと地域内移動を図る手段としての地域バスを組み合わせることにより、利便性の高い地域公共交通をも目指すものである。

ROBAとしての意見

地域内交通を既存ストック（これまで地域内で運行していたスクールバスや福祉バス）を生かして移動手段を確保することは賛成できます。ただし、今後利便性を高めるために以下の点を申し述べました。

- 1、路線バスのJR美山駅にはバス停がなく利用者の利便性には応えていない。既存の「島」バス停を美山駅へ移転することを提案する。
- 2、運行にあたり、運行経路や路線図、時刻表には利用者の視点に立った配慮が必要だ。
- 3、スクールバスには時間帯によっては乗車できない場合もあるので、現場で混乱が生じないようにサインには配慮が必要である。また、鮎川線のスカットランド九頭竜のP&R駐車場の表示が鷹巣方面行きから見ると表示があるものの福井行きから見ると表示がない。利用の推進を図るのであれば利用者の立場に立ったサインは必要と考える。

以上

『私の初夢』

鳥居 健

(注): この文は、全国路面電車サミット2008福井大会に参加された県外の方が、数年後に福井を訪れた際の体験を想定したものです。

201X年 吉日

久しぶりに福井に行く機会があり、特急サンダーバードに乗車して武生で下車。最近新設された JR 武生駅北改札口を通ると、アルプラザの店内を通って福鉄の武生新駅まで快適に移動することができた。さて、次の電車の発車案内を見ると「三国港行(福井駅前経由)」となっているではないか。そうか、数年前の路面電車サミットでお話されていた「田原町でのえち鉄と福鉄の相互乗り入れ」が実現していたのだ。

電車に乗ってまたびっくり。低床タイプで窓の大きな新型車両を目の当たりにし、間違っただけで富山に来たのかと一瞬錯覚してしまう。揺れもほとんどなく滑らかな走行で各駅に停車し、快適な乗り心地にうとうとしていると、ベル前で目が覚めた。

さて、乗降が終わった直後のホームに目をやると、意外にも次の電車を待つ人が多く見られた。確かにこの電車は鯖江市内からの乗客が多く混んでいて座れないが、次の電車でも座れる保証はないだろう。不思議に思って聞いてみると、江端始発の新田塚行きが10分後に来るとのこと。なるほど、これも路面電車サミットでお話されていたが「新田塚・江端間(福井市内中心部)での10分間隔運転」が実現していたのだ。

福井新から路面軌道に入ると、以前よりも電停の数が増えている。大名町交差点の手前に新設された幸橋北詰電停を発車すると、電車優先信号で交差点を難なく右折し、これまた新設された福井西武前電停に到着する。ここは、かつての福井駅前電停を西側に移設して、階段と地下通路で福井西武の地階と連結するようにしたもので、雨や雪の日でも快適に利用できる構造で大変好評とのこと。賛否両論あったものの駅前広場まで新たに延伸された路面軌道を通って福井駅前に到着し、ここで大半の乗客は下車したが、そのまま乗り続けて田原町やえち鉄三国芦原線方面にも行くことができる。

ところで福井駅前への到着時と発車時には、車内に軽快な音楽が流れるのだが、このメロディーどこかで聞いた覚えがある。そうか、これは路面電車サミット福井大会でハーブの演奏と男声合唱団で紹介されていた「ふるさと電車に乗って」ではないか。福井駅前から三国港まで乗務するアテンダントに聞いてみたら、地元民放のCMでもこの歌が流されているらしい。手持ちの携帯でワンセグ放送を受信してみると、幸橋を渡る福鉄電車の映像を使ったCMをタイミング良く見ることができた。

福井駅前から折り返す路面軌道も電車優先信号のおかげで順調に進み、いつの間にか田原町からえち鉄三国芦原線に入っていた。大名町交差点から福井駅前まで往復する時間のロスはほとんど感じられない。田原町から先も部分的に複線化されていて行き違いでの停車がほとんどなく、福井駅前から約30分で芦原湯のまちに到着した。

終点の三国港駅は、ホームが延伸されるとともに電車の退避線も増やされて待合室も拡張されていた。普段は広々としていてもったいない感じもするが、三国花火大会終了直後の混雑時には、このスペースが大活躍するに違いない。

福井ケーブルテレビ「ズームアップまちづくり」の撮影をしました！

12月21日(日)午前10時から福井駅前のバス停、響のホール前のバス案内所にて、福井ケーブルテレビのふくいチャンネル「ズームアップまちづくり」の番組収録を行いました。この番組はケーブルテレビ29チャンネルで5分間の短い時間ですが、1月1日～15日の間、毎日、朝・昼・夜と合計12回放送されています。この番組は福井市内で活動するNPOや自治会などの市民団体を紹介しています。

ROBAからは内田・清水・鳥居・林ひ・三寺・畑の6人が参加しました。私はあいにく所用の関係で中途半端な出演ですが出しています。



ROBAは ROBA全体の紹介 内田さん マップ紹介 林博さん サミット福井大会の紹介 畑 カーフリーデーの紹介 三寺さん。というように、4つの活動についての紹介しています。収録的には取り直しは何回でもOKなのですが、カンペなしに一気にセリフを言うので、どれだけのカットがかかったことでしょうか…。うまくしゃべるとバスが来てしまうのです！

(テイク5、いやテイク10は当たり前だったような。。。；)



自分の順番がくるまでは高見の見物で、簡単簡単と思っていた強気の強気が、自分の順番になると、



いやはや頭の中と口が違う動きをするんです。内田さんの収録を見ていて「あーまた噛んだ あーまた…」と他人事のように傍で見ていた、あの頃の自分はどこに行ったのでしょうか。それぐらいに噛むんです。「緊張は全くしないけど、なぜか噛むんです。」と、セリフがある人はみんなそう言っていました。

この収録場所はROBAだからバス案内所前で！と言うことでこの場所を指定しました。バスの本数も少ないし楽勝と思っていたのですが、次から次へとバスが来るわ・来るわで、バス走行音や案内音が鳴り響き収録にかなりの支障をきたしました。本数が少ないと思っていましたが、気にしてみると意外と多くて本当に困りました、バス。

福井市にお住まいの方で、このニュースが届くころには、放送は終わっていると思いますが、安心して下さい！再放送があるらしいのですが、偽情報でしたらすみません。DVDをいただいているので、お貸しすることもできますよ。

(はた みゆき)



お問い合わせ
NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会
電話番号: 0776-25-7963

照ちゃんの気になる風景 part13



普通列車内 / JR北陸本線

普通列車が禁煙になってから、さすがに灰皿は撤去されてありませんが、この「センヌキ」だけは撤去されずに残っています。

ただし、ビールやジュースが客缶に移行してからはこの「センヌキ」の利用も激減し、昭和の歴史を物語る一コマとなっています。(おおげさか?)

この「センヌキ」もこの電車と運命共同体の関係で、何れ姿を消す運命にあるでしょう。今のうち、ビンに入ったジュースを買ってこの「センヌキ」を使って飲んでみるのも一興かと思います。

作 / 漆崎 耕次

照ちゃんの気になる風景 part14



ローソン / 勝山市内

「おじさん！おいしいもの食べてるんにゃのー。僕にも(性別不明)少しちょうだい」。・・・「おにいちゃん」って言ったらあげるよ！

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「福井から大阪出張に長靴は恥ずかしい？」

塚谷(副編集長)

「丑年そうそう食っちゃ寝して、牛に近づいてます」

内田(発行責任者)

「相変わらず、株価はパッとしませんなア・・・」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>